

討論 1-3

「今、私たちは堂々と話せる」

基地村問題解決のためのセウムト生存者諮問委員会

私たちは基地村女性、今私たちが直接立ち上がり、基地村で起こったことを知らせ、政府から謝罪を受けるために集まった。そして私たちの権利を取り戻そうと思う。

韓国政府と米国政府は米軍を韓国に駐屯させ、韓国経済を発展させるために私たちを利用して現在まで外貨を取り込んできた。さらに 70 年代から 80 年代末までは、強制的に性病検診を受けさせて統制し女性たちを犠牲にした。

ひたすら米軍の「安全な休息所」を準備するために基地村女性に検診証を作らせ性病管理を行った。当時、淪落行為等防止法が作られたにもかかわらず、基地村地域には特別に淪落行為を認め、知らぬふりをした。

韓国政府と米国政府は、基地村女性の性病管理のためには女性たちの人権は考慮しなかった。性病に感染した女性たちはモンキーハウスに隔離して強制的に治療した。治療過程で多くの薬物を注射したため副作用が起こり、それは現在、高齢になった基地村女性の疾病問題とも関連している。

さらに韓国政府と米国政府は基地村女性を管理するために性病検診のほかにも教育という方法を選択した。私たちを教育するために警察、保健所、郡庁の職員が参加し、彼らは定期的に教育を受けさせた。私たちに対して、外貨を稼いで韓国経済を発展させる愛国者だと言い、米軍と争いごとを起こさず仲良く付き合うよう要求した。私たちの見るところでは、二つの国がうまく付き合うために私たちを利用したのである。

基地村地域にいる多くの女性たちが米軍から暴行、レイプ、殺人などの被害を被った。しかし多くの米軍犯罪はきちんと捜査されていない。

基地村女性と米軍のあいだに問題が発生すれば韓国警察は、韓国女性を保護するよりは基地村女性だという理由で無視し、まともに調査さえしなかった。問題を起こした米兵は米軍当局に引き渡されるので、事件がどのように処理されたのかも分からず、かえって基地村女性のほうに問題を起こしたと怒り、罰金を払わせた。

現在、基地村女性たちは貧しく苦勞して生きている。長い基地村生活によって健康がひどく悪化し、経済的困難のために住居や生計が非常に不安な状態である。よって政府はすべての責任をとり、基地村女性に対する問題を積極的に解決せねばならない。

もうこれ以上、恥ずかしい歴史を作ってはならない。今からでも韓国政府と米国政府は過ちを認め、私たちに対して謝罪すべきである。そして過ちに対して責任を取り、問題解決についての対策を講じねばならない。

私たちは堂々と（韓国）政府に要求する。

1. 政府は1970年から80年代末までの基地村地域で基地村女性に起こったすべてのことを認め、責任を取らねばならない。
2. 政府は基地村問題について謝罪し、被害を補償するために特別法を作らねばならない。
3. 米軍犯罪に対して特別法を作り、時効とは関係なく再捜査し、犯罪者を処罰せねばならない。
4. 政府は基地村女性に対する現実的な支援対策を準備して基地村問題を積極的に解決せねばならない。
5. これ以上、こんな歴史を繰り返さないように、すべての国民が知ることができるよう教育せねばならない。

私たちの出来事は、韓国政府にだけ責任があるのではない。米国政府の責任も大きい。今日この場では韓国政府に要求しているが、私たちは将来、米国議会にも行き、米国大統領にも訪問して私たちの要求を明らかにするだろう。

韓国が貧しかったころ、外貨をたくさん稼がないといい生活ができないと私たちに教育したのに、国がある程度豊かになったら私たちを歴史の中から消してしまおうとしている。当時、彼らは国が豊かになれば、私たちに対して責任を取るかのように語っていたが、現在、私たちに対してなされたことは何もない。これ以上、私たちは待たない。今、私たちは堂々と立ち上がる。私たちの被害を明らかにし、私たちの要求が受け入れられるまで一生懸命に闘う。

2008年11月27日